新年のご挨拶

上ノ国町議会
議長　若狭　大四郎

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、国内においては、消費税増税、原発・エネルギー政策、環太平洋連携協定（ＴＰＰ）交渉参加の是非などの争点と、既成政党への不信から第三極の動向も注目を集める中、十二月十六日の第四十六回衆議院選挙は自民党が圧勝し、三年間の民主党政権に対する厳しい審判となりました。

本町議会は、昨年二月に町政に積極的に町民が参加できる開かれた議会を推進するため「住民懇談会」を開催したほか、六月には、地域資源を活用した地場産業の活性化に関する事項を調査し、産業の活性化について提言するため「産業活性化調査特別委員会」の設置や、議会の活性化と議員の資質向上を図るため、議員の一般質問に対して町長並びに教育長が逆質問する「反問権」を導入しました。

また、昨年九月に地方自治法の一部が改正され、議会の招集及び会期、議長と長の関係などの議会運営に関して選択肢が広げられたことに伴い、議会の権限と役割はますます重要になっていきます。

我々議員一同は、その責務の重大さと使命を再認識するとともに、本町の更なる発展に尽力し議会活動に邁進してまいります。

町民皆様のなお一層のご協力、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、町民皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成二十五年　元旦

新年のご挨拶

上ノ国町教育委員会
教育長　金子　廣

新年、あけましておめでとうございます。

過ぎし一年、景気の減速傾向で不況感が強まる中、師走の総選挙で新政権が誕生し、国民の政治に対する期待を高めるものとなりました。また頻繁に発生した異常気象による被害や凶悪事件などが深刻な影を落とした一方で、歴史的な金環日食の観測、五輪での日本選手の活躍や山中教授のノーベル医学生理学賞の受賞など感動と希望を与える出来事も蘇ります。

さて、今日、学校教育においては、子どもたちの学ぶ意欲と規範性の高揚が課題となっています。とりわけ、学力向上が問われる中にあっていじめの問題が大きな波紋を広げましたが、実態把握と迅速な対応の徹底を図るとともに学習指導要領に基づく知・徳・体を三位一体とする「生きる力」の育成に向け、学校・家庭・地域はもとより、社会教育・生涯学習とも緊密に連携しながら支援充実に努めて参ります。

また、成長過程における読書活動、歴史や文化への深まりやスポーツ活動の推進など、地域の方々が多様に関わる各種施策推進に積極的に取り組む決意を新たにしているところであります。

町民皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって最良の年となりますようご祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成二十五年　元旦